

近年各地で多発する災害に備え、地域住民の意識啓発を図るために、地域の自主防災組織による芦屋市7町合同防災訓練が行われました。

六甲砂防事務所では、六甲山地における土砂災害と対策について説明するため、土石流模型実験装置の実演やパネル展示を行いました。

概要

日時：平成28年6月12日(日) 10:00～12:00
 場所：芦屋市立岩園小学校
 主催：自主防災組織 芦屋市7町合同防災訓練
(翠ヶ丘町、朝日ヶ丘町、東山町、親王塚町、岩園町、楠町、六麓荘町)
 参加人数：約300名



○土石流模型実験装置の実演とパネル展示

防災訓練の一環として、校庭の展示ブースでは、土石流模型実験装置の実演やパネルを展示し、過去に発生した災害事例、砂防堰堤の機能や効果、土砂災害の前兆現象及び避難方法について説明させて頂きました。

参加者からは、「芦屋川流域でも土石流が起こりうるのか」と災害に対する不安の声や、「砂防堰堤の働きとその重要度を再認識出来た」・「模型実験はイメージがしやすい」などの意見をいただき、土砂災害の実態や砂防事業の取り組みについて老若男女問わず関心を持っていただき、理解を深めて頂くことが出来ました。

土石流模型実験は分かりやすいと好評でした



白バイや消防車の展示



パネル展示の様子



【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
 六甲砂防事務所 調査課
 〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
 TEL：078-851-0535



防災訓練では燃焼した天ぷら油に水を投入する実験も行われました